入善町報

発行所　入善町役場
編集発行責任者　中田憲政
印刷所　田中印刷所

本町の財政再建計画

計画年度　八ヶ年（31年～38年）
財政需要額　一億二千万円弱
国から借入　一億円
毎年の償還　一千九百万円
利子の差額　五、六百万円の得

再建法（地方財政再建促進特別措置法）の適用を受けるについて、再建計画の樹立を急いでいたが、一応その試案を作製し、六月末頃自治庁に出向の上これを提示し、自治庁の指示を受けた。

本町の財政窮乏の原因は合併に際して事業をやりすぎたことに基因するので、財政上いかがわしい点が無いのと、財源が確かなことで、自治庁では、案外スムースに話が進み、計画試案のほんの一部修正程度でこれを認めてもらえることになった。（適用を受ける全国市町村のうちで、税率が一番低いことが問題になったそうだが、税率はそのままで、上げなくてもよいことになった。）

これによって近く成案を町議会に提出し、その議決を経、正式文書を自治庁に提出するのである。

その大綱は、次の通り

入善町財政再建計画及びその具体的措置

財政の再建の基本方針

本町の財政再建を促進し財政の健全化を確保するため、地方財政再建促進特別措置法による財政の再建を行う。

▼財政再建の期間
昭和三十一年度を始期とし昭和三十八年度を終期とする八年間とする。

▼組織の簡素合理化
連絡所の統合整備を行い職制機構の簡素合理化を図る。

▼人件費の抑制及び節減
昭和三十年度に行った行政整理後のものを基礎とし、昭和三十八年度末までに一定額の減少を目途に漸減すること。

再建期間中における昇給は、職員の新陳代謝、欠員を補充しないことにより生ずる財源をもってこれを行う。

▼物件費の抑制及び節減
1. 昭和三十一年度当初を基礎とし、昭和三十八年度末までに一定額の減少を目途に漸減する。
2. 交際費、食料費等は極力抑制する。

▼補助交付金の抑制及び節減
国、県補助の伴わないものについては極力これを抑制し、特に各種団体その他に対する補助交付金は、原則として廃止を目途とする。

▼寄附金、負担金の抑制及び節減
法令に基かない寄付金負担金及び諸会合費等については、基準財政需要額の百分の三に圧縮する

▼歳入増収及び確保
歳入の増収確保については極力つとめるが、再建期間中税率の引上げを原則として行わない。

以上の再建計画を実施するに伴って、毎年の財政需要額は、一億円～一億二千万円程度でおさえることになる。そして、債務の利子及び元利償還金が二千万円であるから、事業費に当てられる分は大体二千万円以内に見積られる訳である。

七夕さま

「七夕」は七月七日の行事であるが、太陽暦で行う地方が多い。中元の新盆、旧盆、一月遅れさまざまだから、七夕様も同様にまちまちである。近ごろは商魂たくましく人寄せが目的で、だんだん竹が大きくなり、ぶらさげるものも賑やかになって来た。そして、花火ともどもに日本の夏の夜のたのしい景物であろう。

もとは「乞巧奠」とか申して、女の子がお裁縫、染物など繊維工芸の神様の織女が彼氏に一年に一度のおう日をことほぎ、つまり、彼女の一年で一番機嫌のよい日にお祭りをして、お団子やお菓子や時の果物など女性の好きそうな品を供え、糸や絹などを吊して、ドレスメーキングの上達を祈ったのだ。

こうした女の子中心の家庭の催しが、町内の行事になり、色紙や短冊どころかクリスマストリーやお正月の繭玉の飾りまで、ごちや〳〵に吊している。

ついでだが、この日の織女様は恋に無中だから、お習字を吊しても願いの効果はどんなものか？（勝正）

予約米の状況

入善町における三十一年度米の予約状況は順調に進みつつあるが、その第一次申込みの成績は次の通り。

▲三十一年米第一次予約

集荷業者	予約高　石
入善農協	六一五三・六
上原〃	七四四三・六
青木〃	六〇一二・八
飯野〃	七六八六・八
小摺戸〃	四五九五・六
新屋〃	九〇九三・六
椚山〃	六一八三・六
横山〃	三八七〇・〇
沢飯広作	一三四四・八
西尾次郎	三六八・四
魚津寅吉	七〇八・〇
計	五三四六〇・八

（各地区の成績は、右表のうち小摺戸は沢飯広作を上原は西尾次郎を、横山＜古黒部＞は魚津寅吉をそれぞれ合せた分と見てよい。）

参考のために三十年度及び二十九年度の出荷状況を次に示す。

▲三十年度産米出荷状況

集荷業者	出荷高　石
入善農協	六九四〇・〇
上原〃	八五七二・四
青木〃	六三一〇・四
飯野〃	九〇〇九・六
小摺戸〃	六八三八・四
新屋〃	一一七七一・二
椚山〃	七七四六・四
横山〃	三七四八・八
沢飯広作	一六一九・六
西尾次郎	四六六・四
魚津寅吉	九二二・〇
匿名集荷	二六七・六
計	六四二一二・八

▲二十九年度産米出荷状況

集荷業者	出荷高　石
入善農協	五〇八八・〇
上原〃	五八七〇・一
青木〃	四五四八・〇
飯野〃	六七二六・七
小摺戸〃	四四一八・八
新屋〃	七七九八・四
椚山〃	五七五一・二
横山〃	二九二三・六
沢飯広作	一〇九六・八
西尾次郎	二九一・八
魚津寅吉	六二八・八
計	四五一四二・二

以上の表で見ると、今年の予約米の申込みは昨年の増収景気でか、成績は頗る上々である。

公民資料

遺産相続について

新日本の変り方の一つは家族制度の廃止である。戸主制が無くなり、長男があとを継ぐ従前の家督相続・遺産相続の特権が認められなくなった。

遺産相読は、順位により規定の通り相続する。

法の上では

相続

相続人は、相続開始の時から、被相続人の財産に属した一切の権利義務を承継する。但し、被相続人の一身に専属したものは、この限りでない。

相続分

同順位の相続人が数人あるときは、その相続分は左の規定に従う。

一、直系卑属及び配偶者が相続人であるときは、直系卑属の相続分は三分の二とし、配偶者の相続分は三分の一とする。

二、配偶者と直系尊属の場合は各二分の一

三、配偶者及び兄弟姉妹の場合は、配偶者は三分の二、兄弟姉妹は三分の一

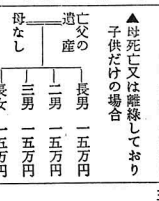
四、直系卑属、直系尊属又は兄弟姉妹が数人あるときは均分　等

これを図で説明する。

（各れも遺産が六十万円の場合の相続分）

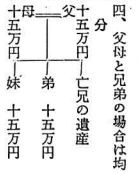
一、妻と子の場合（妻1/3子2/3、全部の子供で均分する）

▲母死亡又は離縁しており子供だけの場合



この場合非嫡出子のあるときは嫡出子の1/2を非嫡出子が受ける。

二、妻と父との場合は二等分



三、妻と亡夫の兄弟の場合は妻は2/3、弟は1/3

四、父母と兄弟の場合は均分

公営住宅が出来る

住宅難を幾分でも緩和しようと、当初予算に公営住宅の建設費が計上してあるので、その申請をしていたが、所期の通り十戸の割当をもろうことに成功した。

この敷地は、椚山地区内の公営住宅の北側に予定して地主と交渉中のところ、このほど話がまとまったので、直ちに県に対しこの建設の許可申請をなした。許可は大体八月上旬に得られる見込である。

役場では、この許可の来次第工事請負入札を行い、十一月中には入居出来るようにと目論んでいる。

免税表（閣議で決定　次期国会に提出の由）

米の予約申込売渡者に対し一石当りの免税

31年10月1日まで	2,000円
仝10月2日から同10日まで	1,800円
仝10月11日から同20日まで	1,600円
仝10月21日から同31日まで	1,400円
仝11月1日から32年2月28日まで	1,200円

入善町風土記

〔二十四回〕

謙信とその遺跡

竹内慎一郎

永禄元年三月（三九八年前…二十九才）景虎越中に侵入し、宮崎をはじめ各城主籠城して固守した。このとき越後兵は、越中各城の附近民家に放火し、麦畑を刈り荒して散々にあばれた

永禄六年八月（三九三年前…三十四才）一万五千の兵を以って越中深く侵入、父為景の戦死したという栴檀野に越中將兵の首をさらした。（この年入善の庄の篠川甚助なる者が奈良の春日神社へ燈籠一基寄進している）

永禄九年（三十七才）小出城（水橋町下条）外各城を攻め、同十一年、十二年元亀元年（四十一才）と連年侵攻、元亀二年三月飛驒の兵（信玄方）が越中に入ったので、松倉・栂尾（笹津）城を攻め、翌年加賀の一向一揆が越中に入ろうとしたので、一万騎を以って富山城を囲んだ。

天正元年三月（三八三年前）武田信玄が死んだ。謙信はこの年四十四才で、爾来四十九才の春急死するまでの五ケ年間は謙信の全盛時代であった。信玄の死後は後顧の憂減少し、越中の一向一揆の勢力又急におとろえ、謙信の視野は加賀、能登へと拡大した。

天正二年五月二万の兵を率いて越中、加賀に入り、敗れて帰ったが、同年七月再び三万を以って越中に入り、翌三年三月一万二千騎を以って西の庄（泊附近か）で戦い、椎名、板垣氏等を破った。翌四年一万七千騎を以って砺波に出陣、同年七月二万騎を以って魚津飛驒、富山を攻め、加賀に向い、雪中苦戦の内に越年して、翌五年三月（三七九年前）に帰国したが、七月に再び侵入、七尾を攻むる事三月に及び、九月十三日の夜陣中に於て観月の宴を催し、有名な「越山併せ得たり能州の景」の詩を賦した。正に謙信得意の絶頂の時であった。

天正六年春、信長と雌雄を決せんと（一説には関東を平定せんと）諸將を春日山に集めた。然るにその期日の二日前、三月十三日急死した。年四十九才。

一説によると謙信若年の頃、越中、加賀には一向一揆の勢力強く、景虎（謙信）ははじめ友好的態度で望み、一揆の支援を得て二十四才の時上京、朝廷に参内し、二十九才の時一向宗禁制の令を廃し、三十才（永禄二年）再び上京、将軍義輝に謁し、各地を歴遊の後無事帰国したという。

ところがその年本願寺の顕如上人が門跡となり、祝賀の為全国の末寺僧侶が上京したその虚に乗じ、砺波の石黒、魚津の椎名氏等が一向一揆の將神保氏と争いを起こした。景虎はこの時長尾景直を椎名氏の養子としていた関係から翌三年兵を発して椎名を援け、富山城を攻めた。それ以来一向一揆は謙信をうらんで武田信玄と結び、大阪本願寺の顕如は背後に在ってこの二者をあやつり、永く景虎を苦しめたという（越中郷土史）この顕如は青木の六本松の信蔵坊が帰依し、命を捧げた教如上人の父で、当時本願寺は城郭を構え、兵を蓄えた大名であった。後に信長が大阪本願寺を攻め教如は之に反抗し、一向一揆は信長をにくんで謙信と和した。後日秀吉が教如を排して弟の准如を本願寺門跡としたのが本願寺騒動（東西分派）の発端となり、青木六本松の信蔵坊の事件につながるのであるが、之は後に詳記する。

入善地方には謙信に関する伝説や遺跡がいくつもある。入善宿由来記に、「元亀天正の頃謙信の為に西蓮寺の伽藍堂塔や水橋将監の舘、民家などが残らず焼き亡ぼされた」郡史稿に「蜥屋の住吉神社等も焼かれた」とあり、吉原の光明寺にも「謙信に焼かれた。当時の住職は鹿熊城の参謀として戦ったという」という伝承がある。（船平源蔵氏談）尚光明寺は西蓮寺五坊の一で法林坊といったと入善宿由来記にある。場所は今の呉紡女寄地帯である。新屋には謙信時代らしいという地下坑道の遺跡があり、「青木のせいれんじ林の地下坑道から刀劍甲冑の破片が出た。穴居の跡か云々」（上青中浦田先生）なども関係ありそうに思える。

闘電交渉決裂!!

第四発電に伴なう　冷水害問題

黒部川第四発電所建設に伴なう冷水害問題については、入善町冷水害激化対策農民総蹶起大会を開き、同実行委員会を設けて県及び関西電力に対して交渉を続けると共に、一方関係流域市町村を一丸とした黒部川冷水害対策期成同盟会を結成して数次にわたり県及び関電に陳情、交渉をしていたが、去る七月十六日の関電との会合において相互の意見がまとまらず、遂に交渉が決裂した。

そこで、期成同盟会では七月二十一日関電に対し、「――この決裂によって今後いかなる事態が惹起されんとも限らない。これらはすべて貴社の責任である――」旨の通告書を手交した。

黒部川の冷水問題については、入善町は、他の市町村と事情を異にした特に激しい損害を蒙っていることであるから、冷害事実を充分お互が認識して、この大問題に当らねばならない。

日本一の冷たい川

一体黒部川の水温はどんな状態であろうか。

黒部川の水温は、全国最低であるといわれている。昭和二十四年に農林省農地局が、全国主要三十六河川について行った水温調査においても断然最低であって

五月平均　一〇度
六月平均　一三度
七月平均　一六度
八月平均　一九度

（愛本橋頭で実測）

という驚くべき低温度である。水稲の最適水温二十八度～三十二度に比べると十五度～二十度も低いのである。

水稲は、元来熱帯で生れた植物であるから、前記の農民総蹶起大会を開き、同温障害を起し、水口では枯死、生育不良と、稔実不良となるのである。

さて、黒部川の水温がこのように低いのは、流域の九五%までが山岳地帯で、後立山、白馬連峰等海抜三千メートル級の山が屏立し夏なお白雪を擁して絶えず雪どけ水が流れこんでいるからであろう。

かかる状態のところへ発電事業が次々おこり、長い水路トンネルによって導水され、水温の上昇する機会が完全になくなり一層水温の低下を来したのである。

参考

発電所名	形式	延長
柳河原	水路式	八キロ
愛本	〃	七キロ
猫又	〃	七キロ
櫛平	〃	六キロ
黒薙	〃	三キロ

発電によっていくら程水温が下ったか

これを本流と発電放水について調べてみよう。

←青鳥で　水口から尚十米の地点の稲の枯死状態

→大家庄で　用水から直接取入れても立派に育つ水口

※均発電用水は二、本流は昭和三十年～六年の四ケ年平均と、昭和二十四年～二十五年の二ケ年平均とを対照する。（いずれも黒部川電力株式会社実測）

	建設以前の記録がないので	発電開始当時と、その後出来た愛本、猫又、櫛平、黒薙の四発電所の建設された後の水温の差が	これでわかる通り柳河原発電所の分を加えると、先に示した二・五度とほぼ一致する。	下新川郡土地改良協会が昨年三ケ月にわたって実測したところによると、猫又取入口から愛本発電所放水口間十五キロで、平均二度の差が現れている。この割合でゆくと、仙人谷取入口から猫又発電所までもほぼ同じ十五キロであるから当然二度の差ができるものと見なければならない。そうすると、都合四度低くなるわけである。しかし、七八月の渇水期は別として、全量が発電所へ引込まれるわけでもなく、本流にも相当量流れており、大体平均
月別	三～六	二四～二五		
五月	八・七度	七・六度		
六月	一〇・四	八・七		
七月	一三・〇	一二・〇		
八月	一五・八	一四・二		

※印

こんな調査記録がある

これを実際の記録と対照してみると、柳河原発電所の分を加えると、先に示した二・五度とほぼ一致する。

即ち、黒部川沿岸の農家は、知らず知らずの間に二・五度の水温低下の被害を受けているのである。それを黒部川の水は冷いのだと宿命的なあきらめをいだいて今日まで過して来たのである。

温水施設をしたが？

最近濾過水温と稲作収量との関係が明らかにせられてから漸く水温に対する関心が高まり、温水溜池や温照水路が設けられるようになり、前者は、浦山新、小杉のニケ所に十五町歩を対象とした溜池が設けられ、後者は、月又川・入善・椚山・横山・青木・上原の各用水の温照水路への改修が行われつつあるのである。

然し、このような設備に莫大な国費、県費、地元労力を投じても、これによって得られる水温上昇は、せいぜい前者で四～五度、後者で二～三度であるから、かろうじて発電事業の尻ぬぐいをしている程度で、減産防止の域を出ず、積極的な増産に役立っていない。

また近年始められた流水客土事業は、老朽秋落田の若返りとして非常に効果がある上に、副効果として田の漏水が少くなり、水量が少くてもよいので、田面の水温が上るのであるが、それと発電事業による水温低下を補うのが精一ぱいというところ。

第四発電を起したら？

そこで、問題の黒部川第四発電所ができたら水温はどうなるであろう。

この発電所の建設計画は黒部川上流の御前沢に、世界第二と称せられる高アーチダム――高さ百八十二メートル――を築き、一億五千万立方米の容量（黒部平野に必要とする農業用水の四十日分）の貯水池を造るのである。

そして、ダムの水面（海抜一四五〇メートル）から六〇メートルの下に取入口を設け、毎秒五四立方メートルの水を放出し、これを延長十一キロの水路トンネルで仙人谷まで引水し、そこで二十五万キロワット（一億万円）の発電をするのである。

ここで問題になるのは、黒部川第三の発電をするのの影響を奥ひびくなり、水口の苗が一面に赤くなって枯れるかも知れない。

ばく大な損害

水温一度の低下で反収一斗の減収するというが、四度で四斗の減収すると、入善町で三五〇〇町歩では毎年一万四千石の減少であり一億四千万円の損失になるのである。

〝金は一年、水は万年〟である。御苦労でも関電力に水温防止施設をやってもらい、将来に禍根を残さないよう交渉に努力すべきである。

くれぐれも認識して頂きたいことは、水力発電も重要な公益事業であるが、農業もまた国家の基礎的な重要産業であるから、両者が共々両立せねばならないことである。

（産業課より資料提供）

新教委法公布さる

政令、通達も同時に出る

地方教育行政の組織及び運営に関する法、同法施行令並にこれに関する政令が六月三十日に公布になったが、その主要な点は次の通りである。

◇**教育委員は五名または三名**

教育委員会は、五名の委員をもって組織する。ただし、町村では、条例で三人とすることができる。

◇**委員は、公選をやめて任命となった**

教育行政の政治的中立と教育行政の安定を期するため、委員公選をやめて知事や市町村長が議会の同意を得て任命することとなった。

この任命制については法案審議の際弱い反対があった。それは「民意が反映しない」とか「任命者の政治的立場によって委員の選任が政治的に左右される」とか「民主主義教育が阻害される」とかの非難があった。しかし、私たちの案とも議員であり、市町村長であり尊重してくれるわけであるから、心配がないであろう。

また、教育委員は、政党である場合は同一政党で過半数を占めてはいけないことになっており委員の政治運動等に制限を加えて、政治的に中立を確保できることになっている。

◇**委員の任期は四年**

◇**委員長は互選で――任期は一ケ年**

◇**教育委員会に教育長を置く**

府県の場合は、文部大臣の承認を得て、教育長を任命する。

市町村の場合、**当該市町村教育委員会の委員のうちから、都道府県教育委員会の承認を得て、教育長を任命する。**

◇**委員会の職務権限**

市町村長に移った職務権限を除いた外は、大体従前の通り。

◇**市町村長の職務権限**

1.教育財産を取得し、及び処分すること。

2.委員会の所掌に依る事項に関する契約を結ぶこと。

3.委員会の所掌に依る事項に関する収入及び支出を命ずること。

従来、教育行政と一般行政とは、はっきり区別されていたので、とかく問題になっていた点が改正された。たとえば教育予算とか教育に関する条例をつくる場合、教育委員会が、市町村長に相談しても折合いがつかないと、教育委員会の独自の案として、町村長の案と並べて議会に出した――二本建制度が改正され、地方財政を考慮に入れた円満なる地方行政が行なえるようになった。（町村長は教育予算に関する議決を要する場合、教育委員会の意見をきかなければならない。ただし、これに拘束されるものではない。）

◇**新法の実施は十月一日から**

以上が改正の要点であるが、占領下におしつけられて出来た旧法を、日本の実情に合うように改められたものであって、急激な改革ではなく、むしろ穏健中正な性格のものといわれている。

――中田――

分館長大会

躍進する実態の発表

第四回入善町公民館分館長大会は、七月十七日午后二時より小摺戸分館で開催された。全町五十八分館の分館長の外、主催者側、教育委員会、各地区公民館本館及び地元小摺戸分館役員等多数出席し、次の議題について協議の外、小摺戸分館の建設とその後の運営状況の改善状況、飯助地区の分館新築及び改造状況、椚山横山地区の備品充実（電蓄等）状況等の発表があり、続いて県社会教育課主事高木広吉氏の講演があった。

協議事項

一、予算並に事業方針について

二、青年学級、婦人学級の振興方策について

三、新生活運動について

四、映写技師、青年学級リーダー養成について

五、分館活動の現況、新築、改造状況と運営上の諸問題について

六、講演及び質疑応答

当日の実態発表の内、小摺戸分館は一切の補助を辞退し、建設費三一〇万円は一戸平均三千円均当割の外特志寄附、部落財産充当、道路工事勤労奉仕等により完成した事。完成後は備品の充実、水道ポンプ設置、住込管理人の委嘱、部落民の諸行事、青年団、婦人会四Hク、結婚、葬祭に利用の状況等、正しい公民館の姿についての発表及び青木の発表は注目された。

判取帳、領収書、通帳等に収入印紙が貼ってありますか

近々に税務署より判取帳、領収書、通帳等の検査に廻りますから、収入印紙が貼ってあるか、又押印がしてあるか調べて整備しておいて下さい。印紙の貼用してない証書、帳簿には一箇毎に三万円以下の罰金又は科料に処せられますから御注意願います。

歌壇

若牛を追いつつ今日のあらくりは予定を越えて共に疲れぬ

田中忠一

雨にぬれし毛並のままにとぼとぼと犬が川原におりてゆきたり

二上令信

女子団員の手ずくる料理はあわてて楽しく並ぶ館の客たち

田中　勇

房つけて伸びゆく葡萄の棚下に疲れて今日の夕光を受く

米沢時男

四貫の反物かかえよろよろと新しき職場になれゆかんとす

城内智恵子

◇職◇場◇め◇ぐ◇り◇

入善驛を訪れる

産業・文化の発展を致す動脈である鉄道——、町の玄関である入善駅が、現実においてどのような役割を果しているかを明らかにすることは、大切なことと思う。なおまた、将來北陸線の電化の問題及び、複線化の問題をはらんでいる関係もあり、その上、西入善駅新設を希望して陳情を重ねている矢先でもあることとて、われわれは、この鉄道——駅に一層の関心を持つべきである。

駅は町の心臓だ

丁度心臓から身体の各部へ血が通い、そして身体各部から心臓へ血が送られるように、入善駅から入善町全地区の先々まで、人や貨物が移出され、移入されて寸時も止まない。随って、入善町の年間の人口動態や産業の状態が、駅では一目にわかる。

先ず、入善駅の乗降客や貨物について、駅長さん(山下與作氏55)にうかがう

▲昭和三十年度乗降客

		人
乗客	普通	二一七、五八二
	定期	三三二、二六七
	合計	五四九、八四九
降客	普通	二一五、一三六
	定期	三三二、二六七
	合計	五四七、四〇三

(差引二千五百人程よそへ出ていく。〈急行客が泊などで降りるから、この数全部でない〉)

▲昭和三十年度貨物扱い

出荷	トン
米	七、四九七
麦	一、二一二
綿製品	七、二二二
西瓜等	六三六
家畜	五七五
金属	五三〇
機械車輛	三四一
木材	三一三
以下畧	

入荷	トン
肥料	六、〇三一
原綿	三、八七一
小麦粉	三、五五三
石炭	二、八一七
セメント	二、七七〇
木材	一、二四〇
以下略	

乗降客については、一日平均千五百人程度で数においては、泊駅より少し多い。

ところが、貨物については、さすがに米どころ、黒部西瓜の本場だけあって、泊駅よりも遙かに多い。

近年西瓜の輸送がずっと減ったが、それでも昨年は一、六八一、二八〇箇積み出した。青物で、こわれ易い西瓜の輸送は一番厄介で駅では滞貨しないよう貨車の用意や積み合せ列車のあんばいに苦心している。

〝時間の正確　世界一〟の蔭にこの苦心

入善駅の職員は総員十七名、それが朝八時から翌朝八時まで勤務、一日非番の二交替制である。夜間は六名で、眞夜中には四時間の休眠を二交替でするから、三人で列車を扱わねばならない。

この夜間勤務は一番つらいのである。三人で通票の受け渡し、信号、転轍を三十秒とか一分の停車時間を狂わさないように扱うことは、迅速、正確を期し、責任を守る鉄道職員魂が無ければ出來ない仕事だ。

殊に吹雪の晩なんかは、転轍を氷結させたら万事終りだから、一晩中つききりで転轍を守り通すこともあり、部外の人には到底わからない苦心がいる。

万一ポイントがきかなくなったら、列車事故をおこすこともある。事故がおきないまでも列車の発着がおくれると、こんな單線では一列車の遅延が全列車のダイヤをメチャ〳〵に狂わすことにもなるのである。

北陸線の将来と西入善駅

裏日本の幹線である北陸線は、一日も早く複線化しなければならないことは、素人にもわかる。しかし、独立採算制の国有鉄道では何時それが出來るかわからない。今のところ石動・久利加羅間の勾配を少くする工事のように、多少なりとスピードアップするよう図っているに過ぎない。

電化の問題もそうだ。目下進行中の表日本幹線の電化完成後でなければ順番が來ないようだ。電気王国が一番あとまわしとは皮肉な話である。

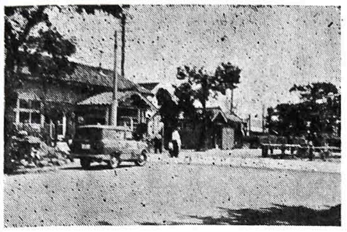
西入善駅は、入善町発展のためには是非新設すべきだ。今後列車の本数が多くなればなるほど駅と駅の間が長いことは、列車運行上返って不便である——待合せ時間が多くかかる。そんな関係で、案外早く実現するのでなかろうか。昔から新駅を作って発展しなかった例はどこにもないそうだ。

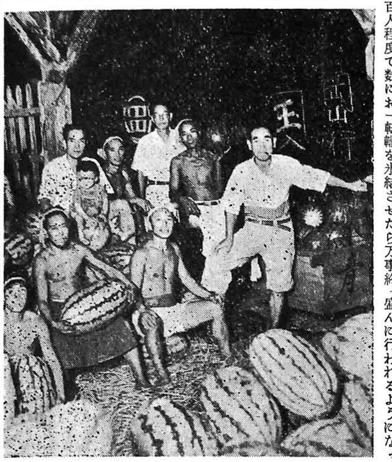
待合室の美化奉仕
岡本いしさんの美挙

待合室に見事なお華が生けてある、いつも新鮮なのが——。

これは、呉紡の岡本いしさんが無料奉仕して居られるのだ。この美挙は昭和二十四年以来のことで、こんなに長期間継続して奉仕して頂いて全く感激の外ない。

尚、駅前小公園には常夜燈が設けられたが、これは岩場清八氏の寄附によるものである。このように皆様が駅に対して後援して下さるので、非常にありがたいと、感動の色を面にあらわしつつ駅長は語られた。(中田)





(上、入善駅全景、下、西瓜積出状況)

盆踊りを主催者で自主的警戒を

入善警察署

盆踊りの時期になりました。盆踊りは、近年農村方面の娯楽、慰安行事として盛んに行われるようになったことは結構なことです。ところがこの楽しかるべき盆踊りをめぐって、近年、暴行、傷害事犯をはじめ、青年の不良化の場となりつつあることはまことに遺憾のことです。

例えば、昭和二十七年八月和合町青年団員に対する殺人事件、昭和二十九年八月の入善町福島神社における不良グループの集団傷害事件など毎年二〜三件の大きな事件がおきております。

行事の主催者も、一般の人も、次のことを守り、そして、みんなで歌い、みんなで踊るレクリエーションとして、今年こそ健全で、明るく楽しいものにしたいものです。

◎盆踊りの場所は、校庭や神社やお寺の境内、空地等で、環境的によい場所を選び、十分な照明設備をすること。

◎踊の終了は、おそくとも午後十二時までとすること。

◎盆踊りの開催については、事故防止の点から、事前に駐在所か、警察署に連絡し、細部の打合せをしていただきたい。

◎踊場の風紀の保持や、秩序の維持は自主的に行うよう、警戒員や詰所を設けること。

◎不良者の入り込んだようなときは、すぐ警察官に連絡すること。

◎主催者側で酒の提供等しないこと。

◎風紀上よくない、ひわいなハヤシや、歌を唱わないこと。

性的犯罪をなくしよう

◇　◇　◇　◇　◇

夏は特に戸締りがおろそかになりがちで、女性のあらわな姿が罪を誘ったり、服装もきわだってうすいものになることから、女性に対する犯罪、つまり性犯罪が多くなるから、次のような点に気をつけましょう。

(1) 寝ている姿を家の外から見られぬように、戸締やカーテンをひき、内部を暗くすること。

(2) 服装は、人目につきやすい派手なものや肌の多くでるものをさけること。

(3) 夜間の外出は家族か友人と連れだって出ること。

(4) 劇場や夜道でそぶりの変なものがいたら痴漢とみて座席を変えるとか、道を変えること。

(5) 夜道は、明るい道や本通りで見知らぬ者から話しかけられたときは油断しないこと。

(6) あくどい化粧は誘惑のもとになりますから慎むこと。

(7) 身だしなみはできるだけきちんとして、狙われる隙をつくらぬこと。

入善警察署

涼み台

(1) 西瓜の新品種　土佐姫

土佐の西瓜は〝早熟物〟として全国に有名だが、このほど、高知県農事試験場では新種創造に成功、同県知事はこれを〝土佐姫〟と名付けた。

これは、多産系の乙女種と、甘味、肉質を誇る甘露種を交配させたものだが、その結果、栽培日数は従来の三十日ものより五日ほど早くなると云う逸品、果皮は薄い上、美しいしま模様があり、中味は鮮紅色で甘味強く、肉質は甚だ宜しいといった器量よしであるという。

(2) 手軽な防水加工法

薬品　石けん
　　　醋酸鉛
　　　生みょうばん

まず防水加工をしようとするものを洗っておく。

第一番目に石けん二十匁を一升の湯にとかし、熱くしてその中に漬け、軽くしぼつて陰干しにする。

第二に醋酸鉛二十匁を湯一升にとかし、熱くしてその中に漬け、軽くしぼって陰干しにする。

三番目に生みょうばん二十匁を一升の湯にとかしてその中に漬け、しぼつて陰干しにするのである。

いずれもよく干してないといけない。

(3) 東京都の一日の姿

東京都統計部で、このほど去年一年間の各種統計をまとめた。

はてしなくふくれ上る東京のこととて何かとスケールが大きい。以下は統計の平均から見た『東京都の一日の姿』である。

▲出生　三、四七八人
▲死亡　一、二一八人
▲刑事犯罪　五九二件
▲交通事故　四四件
▲水道給水量　丸ビルの容積の六・五倍
▲ゴミの処理量　四トントラックにして七八四台
▲デパートの売上高　三五八、六二八、〇〇〇円
▲都電の乗車数　一、七四七、二九四人
▲新聞購売数　五、三一六、〇〇〇部
▲郵便　二、五二一、八九七通

(4) 温床紙の廃物のとても良い利用法

しまつに困る苗代の紙の廃物を利用するとてもよい例を紹介する。

苗代の紙は、よほど上手に扱わないと二度の勤めはさせられない。大低は物種を蒔いた苗床のおおいにするくらいは関の山で、中には燃してしまうものさえある。

これは二つ折りにし、巾一尺ぐらいにしたものを水の漏る畦の水ぎわに、紙の端を少し出して埋めこんでおくと、漏水が防げる外、畦の水際附近に居るケラの幼虫やキリウジが、畦ぎわの稲をくい切らないので、とても良いとのこと、皆さん試してみたらいかが?

次に、三四枚合せにした温床紙又は、肥料の袋を切って、畦や畔のモグラの道をしや断するのも良い方法である。このときコールタールをぬったら、鼻の弧いモグラは、絶体によりつかないから、一層効果的である。

自衛官募集

昭和三十一年　第三次募集
二等陸・海・空士

受付期日　**8月31日まで**

採用人員
陸士　一、一〇〇名
海士　二〇〇名
空士　五〇〇名

資格
昭和六年十一月二日から仝十三年十一月一日までに生れた新中卒業者

福島—新屋—小杉のバス

七月七日午前十時、福島神社の境内で、同方面運行のバスの開通祝賀式をあげた。

このバスは、電鉄桜井駅を起点に上飯野、福島、新屋を経て小杉に至るものであるが、目下ほぼ完成の小杉、金山間の道路拡張工事の仕上る次第大家庄を経て泊駅まで延長運転されるのである。

公民舘長 分舘長名簿

入善町中央公民舘長	船平源蔵
上原公民舘長	中野康治
青木同	稲場久秀
飯野同	広田与三
小摺戸同	柳沢耕一
新屋同	中林佐一郎
椚山同	中川正明
横山同	森　群平
入善町中央公民舘 上田分舘長	上田正作
神林同	米原茂雄
青島同	舟川豊次郎
田中同	田中多一
五十里同	五十里初郎
君島同	室　義一
上原公民舘 上野第一分舘長	板川周精
上野第二同	板川啓三
上野第三同	道又庄太郎
上野第四同	目沢与作
邑町同	愛場由次
下上野同	金沢宗孝
道市同	広清正一
吉原第一	村上三郎
吉原第二	西尾與次郎
柳原	上原与作
青木公民舘 上村分舘長	藤原信義
中南同	松田政雄
中北同	中林正秀
柴垣同	北川二四
下村同	木田秀夫
西島同	高沢清二
木根同	稲場与次郎
目川同	杉沢与四
飯野公民舘 国道筋分舘長	細田太次郎
道古同	嶋先誠一
農愛同	野坂尚義
神子沢同	荒田繁次郎
下飯野同	塚田善三郎
下飯野新同	米島憲二
芦崎同	井田基之
高畠同	中田　竹
五郎八同	飛島良作
笹原同	島瀬音作
上飯野	大野幸與次
小摺戸公民舘 小摺戸分舘長	伊林順平
一宿同	柳沢眞太郎
若栗新同	若林一衛
福島同	福沢義夫
新屋公民舘 墓ノ木分舘長	橋本由次郎
島　同	永井勇松
下山同	稲村栄吉
東町同	橋本初太郎
向島同	米山才亟
上村同	寺崎元貞
浦山新同	浦滝友一
椚山公民舘 小杉分舘長	杉田作右エ門
上組同	鍋谷良平
長島同	長島繁松
椚山新同	大田元長
田ノ又同	坂東米次郎
荒又同	久保庄一
横山公民舘 横山分舘長	亀田定次郎
八幡同	浜田勇太郎
春日同	松田栄松
藤原同	池原　善
古黒部同	島田与右エ門

『腹の虫ぐらい』はいのちをおとす

「腹の虫が治まらん」という言葉は、どんなインテリでも平気でよく使う。腹に虫のいないものは、片輪者のような感じがする。

腹に蟲をもっているということは、野生的人種の特徴であって、寄生虫をもたないアメリカ人などに聞かされない恥かしい話だ。

▲寄生虫病の主なもの
蛔虫病
十二指腸虫病
住血吸虫病　等
（本県では鞭虫、東洋毛様線虫が比較的多い。これはあまり人体に大きい影響を与えないとか。）

寄生虫病は、一寸した注意で予防が出来、駆除も比較的楽だ。

1. 生野菜をよく洗って食べる（出来れば消毒して。）
2. 下肥はよく腐熟したものを使用する。
3. はだしで歩いては十二指腸虫が感染する。
4. 検便をして虫を駆除する。

等によって寄生虫のわざわいからのがれることが出来る。こんな虫くらい、と高をくくっていても、十二指腸虫や蛔虫などは横綱でもたおす力をもっている。

各小、中学校では、毎年一、二回検便や駆除をしている。折角駆除しても又新規に感染する。年ごとに保卵者の数は減っては行くが毎年こんなことが繰返されている。これは、一般家庭に保卵者がいるからだ。

――下肥の卵が野菜につき口に運ばれ、腸内で幼虫になる（蛔虫など）。又は畑にやった下肥が暖雨に流されて溝にたまり、そこで卵から幼虫になり、はだしの皮膚から幼虫が人体に侵入する（十二指腸虫）――。こんな過程を繰りかえしているのだ。

町保険衛生課では、一般家庭の集団寄生虫駆除を行って、この町から完全にこの不名誉な「腹の虫」を駆逐して健康な明るい町にしようと念願している。

今、寄生虫駆除に良い成績をあげている椚山小学校の意見を聞いてみる。

椚山小学校における寄生虫駆除の状況

本校では、中川校医の指導と努力により寄生虫の駆除の成績が、別表のように上昇しつつある。

昭和二十四年度の寄生虫保卵者の率が四三・八％であったのが本年六月には十六％となり、特に蛔虫の二八・九％が五・八％に減少した原因は、大体次のようであると思う。

1. 昭和二十九年度から春秋二回実施していること。
2. 児童の手洗いの勵行につとめ、家庭でも実行するようになったこと。
3. 保健衛生に関する理解が深まり、一般家庭の検便や駆除も逐次多くなったこと。
4. PTAがよく理解し、経費の負担を惜しまないこと。
5. 簡易水道や井戸が普及し川水の使用者が少くなったこと。（川水使用の家三九戸）
6. 人糞尿は、腐熟してから使用することになったこと等

この上の希望としては、一般の方々も全員検便し、駆除をしてもらって、寄生蟲の居ない環境を作って頂きたいことである。

参考のため児童の寄生虫調査表も書きそえる。

第一表　椚山小学校　年度別保卵者統計

年度	検検人員	蛔虫	鞭虫	ダニ	東洋	十二指	其の他	保卵者人員	平均
昭和24年度	242人	28.9%	3.7%	0%	5.0%	6.2%	0%	106人	43.8%
26	296	21.3	4.1	1.0	1.7	13.5	2.4	130	43.9
27	228	16.0	0.8	0.8	0	0.8	0	42	18.4
28	217	14.3	1.4	0	0	0.9	0	36	16.6
29(春)	254	14.2	0	0.4	1.5	2.7	0	48	18.8
29(秋)	296	8.8	5.7	0	3.0	6.8	0	72	24.3
30(春)	305	4.3	5.9	0.7	3.6	3.0	0	53	17.4
30(秋)	309	5.2	3.6	1.0	1.3	5.2	0	50	16.2
31(春)	343	5.8	3.5	0.9	2.6	3.2	0	55	16.0

第二表　椚山小学校　学年別寄生虫調査　昭和三十一年六月

学年	検査人員	蛔虫	鞭虫	ダニ	東洋	十二指	十二鞭	保卵者総数
1	62人	7人	2人	0人	2人	2人	0人	
2	61	1	2	0	0	1	0	
3	71	5	2	3	2	2	1	
4	60	2	3	0	2	3	0	
5	33	1	1	0	1	1	0	
6	56	4	0	0	2	0	1	53名
計	343	20	10	3	9	9	2	

ここにムダあり
―8―

食事にムダはないか

〝食生活にムダがある!!〟と、いったら、奥さん方は「もの心ついてからこの方台所で暮しているこのわたイ、たべ物にムダがあることなんかザーませんよ。」と、おっしゃるにきまっている。

さて「正月と盆は　お医者ハンのかき入れ時だ。」というのはどうしてか。いうまでもなく特別サービスによるご馳走を、乞食がご遠忌に招ばれたようにムリ食いした結果である。

食事のムダは、まず、食うムダと、作るムダとの両面を考えねばならぬが、この〝医者のかき入れ時〟の現象は、食うムダと作るムダとの合流点におこる現象だ。

盆・正月になると、平生ママとコーコの食膳が、分量において二三食分を一度にお膳に並べられる。たべる方もたべる方で、喉もとまで詰めこむ。大体大人の胃袋の收容力は一、五リットルだという。そして、別表のようなその人その人の食物の必要量がある。この容積も必要量も無視したご馳走攻めくらいムダな話はなかろう。

昔、全盛を極めた頃のローマには、ヘドあげ場があって、美酒美食をタラ腹つめこんだら、鳥の羽根でノドボトケをくすぐってゲロを吐き、そしてまた宴会を続けたそうな。昔支那でもこんな風にしたと聞いている。こんなのは、たべ物は馬鹿げたムダだが、胃袋の分量を調節することで医者の厄介にならないことだけは、われわれよりも悧巧でムダが少ない。

如何に学問が大切だといっても、生命に直結している食料の科学（栄養学）ほど大切なものは無い。〝命あっての物だね〟のことわざをもじっていえば、〝栄養学あっての原子物理学〟だ。

食事は、申すまでもなく失われたエネルギーを補給し、貯蔵するためのもので単におなかをふくらませるだけでも、味覚を楽しむためでもない。要は、食物の三要素である含水炭素（米麦、いもなど）蛋白質、脂肪等の外、ビターミンABCDEなど各種を、各人の必要量だけ摂ることなのである。

ママとコーコだけでもだめ、おさかなばかりでもだめ、いろんなものの混食が一番無難というところ。

親不知の人がこちらの子供の体格をつくづく見て、〝ナールほど、こちらはたべ物が良いからだ！〟という。親不知の方面は、野菜は殆どとれず、米も少いので、おさかなで腹をふくらませているから体格が悪いというのだ。なっぱをかじっていて、おさかなをおがみたい気持のわれわれには一寸げせない話だが、栄養学から見れば、御高説ごもっともな次第。

たべる者の方は「腹八分」の金言を忘れないこと。

作る者の方は、栄養学の原則をはなれず、たべる者の心理を考えて、いわゆる「目でたべ、鼻でたべ、口でたべ」るよう工夫をこらすことだ。

二十世紀は面白い世紀でビターミンの研究で人類の栄養が進み、放射能で殺される（？）時代だ。

日露戦争の際、難攻不落の旅順の要塞が野菜不足で落ち（ビターミンCの欠乏で壊血病でなやんだ）、白米食の日本軍がビターミンB1の欠乏で、二十万人が脚気になやんだことは、有名な話だ。

栄養学にかなった七分づき米も、よくとぐことで二十五％のB1を流し、煮ることで又二十五％を失うというから、野菜を料理するにも、おさかなを料理するにも、ビターミンのことを心掛けなくては食物のムダは本当に解決しない。（K女）

参考（一）
▲日本人一日一人当り
栄養要求量
熱量　二一五〇カロリー
含水炭素　四〇六グラム
蛋白質　七五グラム
脂肪　二五グラム
食塩　一五グラム
カルシウム　一グラム
鉄・ビタミンA　仝B1
仝B2　仝Cの少量
但し、年令、生別、業態によってちがう。

参考（二）
▲人体の組成（百分中）
水　六七、六
蛋白質　一五、二
蛋白質誘導体　四、九
脂肪　二、五
塩類　九、二
抽出物　〇、六

農事視察のもよう

小摺戸農業委員会長　城崎将雄

〝農村振興は、まず地区農村指導者の視野の拡張から――〟との趣旨のもとに小摺戸農業委員会昭和三十一年度事業の一つとして、去る六月二十日農業委員、部落生産組合長、四Hクラブ代表、篤農家等で

1. 米作日本一上楽菊氏圃場
2. 出町園芸試験場

の農事視察を実施す。

当日は、梅雨時とはいえ天候に恵まれ、わが郷土振興の熱情に燃えた老若四十名、生活改善は時間の厳守よりと、定刻七時、一名の遅参者もなく、われ等一日の愛用車グリーンのロマンスシート、美人ガイド付バスに乗車、出発す。

車中は、ガイドの沿道の名所旧跡の案内、民謡の紹介等で、賑やかで楽しく過ごす。

米作日本一、上楽菊さんの圃場では、担当普及員の説明を受け、質疑応答に飽き足らず、素足で圃場に入る等、ワイシャツの袖をまくって耕土の深さ、分けつ草丈の測定等、各々熱心に視察す。

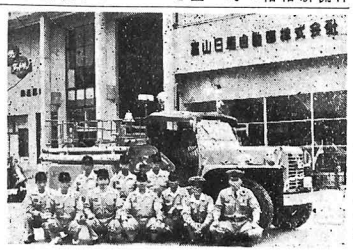
出町園芸試験場では、各自それぞれの希望に応じて各試験圃場等で担当職員より説明を聞き、幹事の予告しておいた視察時間が過ぎても愛用車に集らず、幹事これをまとめるに汗だくの態、幹事とはツラきものかな。

正午過ぎ発車、一時間ばかりにして山田温泉の玄猿楼に着く。春以来農耕の汗を県下最古開湯の温泉に流し、同楼二階の大広間で新農村建設計畫要綱並に部落生産組合育成要綱及び部落生産組合育成要領等今後の農村振興方針（国、県、町等）の説明会を催す。終って渓流の音を聞きながら盃を交し、しばし浩然の気を養う。

午後四時、同楼を出発、帰途に着く。

帰路は、さすがに日頃の疲れが出たかコックリ〳〵居眠る老篤農家、今日の視察の研究課題を語り合う若き四Hクラブ員、今後の農政を論ずる壮年層、バスは車中の人の語らいをよそに一路家路へ……。午後七時帰村す。

本日の視察の技術的報告は、視察者それぞれの立場で研究されたことで、後日各自の圃場に、或は各部落生産組合にその成果が現れることと信じ、これを省畧して筆を擱く。



自動車ポンプ小摺戸へ

六月三十日午後三時から小摺戸小学校で、小摺戸地区備付の自動車ポンプの入魂式を行った。

同地区の消防自動車は、相当の年数を経、もはや廃物同様の状態となり、修理するだけでも数十万円を要するので、従来種々取沙汰されていたのである。

火防上のことは一日もゆるがせに出来ず、さりとて町財政窮迫の折柄、町当局としては処置を困っていたのである。

そこで、新調に要する百九十万円を地元で立替えることとし、この程新鋭車を購入したのある（写真は購入した小摺戸消防ポンプ）

稗撲滅運動

近年用水へ稗等の雑草を投げ捨てる方が多いため、下流の農民は大なる迷惑を被むっています。

お互に美田の雑草を無くする為にも、今後絶対に用水へ「ひえ」捨てないように致しましょう。

西瓜の荷造について

入善駅長

入善名物〝黒部西瓜〟の出盛りとなりました。今年も昨年に倍して贈答用に駅や運送店に西瓜を託送されることが予想されますが、荷札の不備なもの、荷造りの悪いもの、抱き合せ、又は重量超過のものなどで、切角駅までお持込みになってもすぐに送れないことがあり、お気の毒なことが多いので、西瓜の鉄道輸送の場合は、次のことに気をつけて下さい。

一、手荷物として託送できるもの（切符のある場合に限る）
重量三〇キロ〜（八貫目）まで
運賃　三〇キロまで百円
配達料右重量以内三十円

二、小荷物として託送のもの（切符のない場合）
重量　二〇キロ（五貫三百匁）まで
運賃　重量と距離によって算出する。

▼主な都市関係（重量十キロ、十五キロ、二十キロそれ〳〵料金がちがう）十キロまでの運賃
距離百キロ迄（富山、高岡、高田）　七五円
二五〇キロ以内（敦賀、高山、長野、新潟、松本）　一〇〇円
五〇〇キロ以内（東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、山形、秋田、仙台）　一二〇円
七五〇キロ迄　一四五円
一〇〇〇キロ迄　一六五円
一五〇〇キロ迄二一〇円
二〇〇〇キロ迄二五五円

三、荷造り
(1) 一箇一箇縦縄と横縄をかけること
(2) 二箇三箇抱合せないこと
(3) かます等に入れて、西瓜の見えないものは、下積みされたり、取扱い中割れることがある

詳細は廻覧板をどうぞ

職人になる早道　職業補導所はいかが

桜井職業補導所（黒部市電鉄櫻井駅西方）では今春入所生の募集を行ったところ木工科生定員三十五名に対し二十余名の応募者であった。しかし、なお十数名の不足があるので、入所希望者を募集している。

早く一人前の職人となって職業の安定を得たい中学卒業生の方々は、入所されたら如何。

入善圖書館　新刊案内

書名	著者名
あれこれ	原枕雨
冗談下談	竹村文祥
随筆ぬかみそ帳	中村武志
出世―友よ、この道で行こう	永田久光
昭和の精神史	竹山道雄
若き日の人生ノート	串田孫一
帝王と墓と民衆―オリエントのあけぼの	三笠宮崇仁
風土と言葉	宮良当壮
旅程と費用	日本交通公社
世界の裏街道を行く―	
南北アメリカ篇	大宅壮一
社会保障	末高信
男女・夫婦・親子の法律知識	自由国民社
涙の谷より　子にわびる母の記録	田中澄江
ガリ版先生―親ぐるみの教育実践	須田清
叩き上げた人々―新しい仕事はどこにもでもある	実行之日本社
金六財話―金作り実際ばなし	益田金六
お金の話―溜め方殖し方の実際	和田見治
大學の青春・駒場	山下肇
宇宙と星	畑中武夫
生物と無生物の間	川喜田愛郎
四十からの健康―若返りと長生の医学	杉靖三郎
愛猿記	子母沢寛
皇后さまのデザイナー	田中千代
おしやれ案内　ハイカラとはどうすることか	マダム・マサコ
映画の理論	岩崎昶
登山全書第二巻―岩登り篇	松方三郎